

平成 27 年度 柏崎市刈羽郡学校教育研究会生徒指導研究部 活動報告

部長 金子 明子

1 研究主題

「豊かな心を育む生徒指導のあり方」

～小中一貫で「いじめ見逃しゼロ県民運動」の推進を通して～

2 研究の概要

研究主題を受け、今年度の重点事項を以下の5点として研究を推進した。

- | | |
|--------------|-----------------|
| ○道徳教育の充実 | ○子どもの居場所づくり |
| ○生徒指導体制の充実 | ○いじめ防止基本方針の本格実施 |
| ○新たな不登校を生まない | |

3 研究の実際

(1) 学校教育研究会生徒指導研究部としての主な取組

① 柏崎刈羽地区小・中学校生徒指導担当者会議 (5/21) 会場：柏崎市立第二中学校

平成 27 年度の研修・事業計画等について、実務に携わる生活指導主任・生徒指導主事が集まって審議した。管内の少年補導・交通事故の現状や傾向、その要因等について、柏崎警察署からご講演をいただいた。さらに、「いじめ防止対策推進法」本格実施に伴う「柏崎市いじめ防止基本方針」の確実な実施の確認を行った。今後の予定について柏崎市教育委員会の生徒指導担当主事からご講演をいただいた。本年度はメディアの中学生共同宣言を行うことについて柏崎市教育委員会から説明があった。その後、生活のきまり等、担当者間の情報交換を行った。

(2) 柏崎市刈羽村教育委員会と連携した取組

① さわやか学校プロジェクト (9/1) 会場：柏崎市立教育センター

柏崎市教育委員会と柏崎市刈羽郡学校教育研究会生徒指導研究会が共催で、新たな不登校を生まない手立てを協議する場として実施した。上越市立諏訪小学校校長の五十嵐守男様から「改めて『不登校』を考える～『追跡調査』から見えてくることを中心に～」と題したご講演をいただいた。かつて不登校であった人たちへのアンケートから得たデータや自身の経験に基づき、具体的な事例を交えてご指導をいただいた。その後「新たな不登校を生まない手立て」について、講演を手掛かりにグループ協議を行った。

② 「小中一貫教育・柏崎方式」による中学校区を単位とした生徒指導の取組

市内 7 中学校区がそれぞれ、豊かな人間性や社会性を育む小中一貫教育について、具体的な取組内容を協議し合った。特に、学力向上の基盤としての生徒指導を大切に、互いに認め合い支え合う人間関係構築の活動や一人一人をいかす取組について活動を推進した。併せて、「いじめ見逃しゼロスクール」を各中学校区で創意工夫して開催し、児童生徒が中心となったいじめ根絶活動の推進に取り組むことができた。

(3) 地域と連携したメディア宣言

市内中学生メディア共同宣言を出した。各小学校もそれに合わせメディア学習をした。それに合わせて柏崎市青少年育成市民会議、刈羽村青少年育成村民会議、柏崎市小中学校 P T A 連合会、柏崎地区高等学校 P T A 連合会、柏崎市子ども会連合会も共同で 2 月に大人のメディア宣言を出した。

4 成果と課題

今年度は、「柏崎市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止方針」が本格実施された。また、新たな不登校をなくす取組の講演を実施することができた。結果として、市全体の問題行動や不登校傾向児童・生徒の減少を実現させている。その要因は、各校・各中学校区が目的を共有し、全職員で児童生徒に豊かな人間性と社会性を育む生徒指導を進めてきた成果である。今後も、中学校区を中心に成果や課題を共有し、有意義な活動を進めていきたい。